

医療ニーズ;絡まりにくい点滴管(ルート)



医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 看護部



「患者さんの動きを制限したくない」

■看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

■ニーズの背景

- 入院患者には多くの点滴管がつけられることが多い。
- そもそも点滴管が長く、絡まってしまふことがある。
- 絡まったまま動くと、点滴管が点滴袋や患者の体から抜けてしまったり、寝返りも打てないことが起こる。
- 長さを調節出来たり、絡まりにくいルートは作る必要がある。

■現在の対応方法

- 患者に動く時に注意してもらう。
- 点滴が抜けたりからまったら、その都度点滴を刺し直したりする。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 滋賀医大手術件数:8670件/年
- 手術患者1人当たり2か所点滴すると、17,340回点滴を行なうここに手術をしない入院患者を入れるとそれ以上
(出典: <http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/hospital/record/index.html>)

【イメージ・参考例】長い点滴管を絡みにくくする機能



機能アイデア例

- イヤホンで使われるようなまとめる機能
- 点滴管の長さを調節する機能
- 点滴管の素材や構造

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp